会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 池永
日 時	平成28年1月15日(金曜日)		開 議 午後 3 時 15 分 閉 議 午後 3 時 28 分
出席委員	明田 馬場 酒井 奥村 富谷 平本 小松		
理事者 出席者			
事務局	鈴木係長、池永		
傍聴者	市民 - 名	報道関係者 - 名	議員 -

会 議 の 概 要

1 開 議

< 明田委員長 >

院長の話聞き一安心した。医療にも経営的にもはっきりした考え方をお持ちのようである。今後とも玉井院長に頑張っていたきたい。それでは、来月の月例の日程について事務局説明を。

< 事務局 >

2月9日は第2火曜日であるが、当日、事務局の都合がつかないので、月例を別の日に設定いたきたい。

[日程調整]

< 明田委員長 >

16日火曜日の午後1時30分からでどうか。

< 了 >

< 明田委員長 >

先ほど病院へ行ったことなどに対して意見があれば。

< 酒井委員 >

新改革プランを作る時、京都府からデータが出てくるとのことであった。高いコンサルに入ってもらい亀岡市が独自に作るというが、何を検討するのか。入っていた後の点検・評価が前プランではあまりできていなかった。それをきちんとやっていただく体制を取っていただきたい。

< 平本委員 >

院長に直接お話を聞き、これから変わっていくという期待が非常にある。ああいう場での忌憚のない意見交換は、今後も行っていってはどうかと思う。非常に良かった。

< 馬場副委員長 >

運営委員会を要綱設置か条例設置か検討中とのことであるが重要なことである。議会が関与するかしらないかを検討しているのは何なのか。なぜ要綱なのか、なぜ条例なのかをまた聞いていきたい。

< 明田委員長 >

私の感想ではおそらく、新院長の思いもそこに入ってきていると考える。

< 酒井委員 >

委員会のテーマとして、市立病院のこと、その後に子どもの貧困について取り組むこととしている。改定地域福祉計画がパブコメ募集中であり、ここに子どもの貧困について位置づけを明確に入れてほしいというのを委員会として言えないかと考える。総合計画にも子ども・子育て支援事業計画の中にも子どもの貧困が入っていないので、地域福祉計画が改定される今がチャンスなのでは。

< 明田委員長 >

以前もそのような話があったが、その時は、各部課で個々の施策の取り組みはされていると思うが、貧困という大きなテーマで、亀岡市だけで取り組むのは難しいのではないかという話をしたのでは。

< 富谷委員 >

子どもの貧困は全国的に6人に1人と言われている。亀岡市もこれから子育て支援を取り上げる以上、重要な部分である。亀岡市では無料で塾をしたりもしているが、いろいろな問題や課題がある中で、市として事業を考えていただくべきなので、委員会として意見を出せたらと考える。

< 明田委員長 >

それぞれの担当課で取り組まれていると思うが、他に意見は。一度申し入れをしても良いのではないか。

< 馬場副委員長 >

入れられれば入れたら良い。ただ全体的な総論で入れるか、子どもの福祉の関係の中に頂立てして入れるか。子どもの貧困を大きく捉える側面と、具体的な現象でやっていく側面とがある。私の考えでは、子どもの福祉に入れて、亀岡市もきちんと認識しているということを示すことは必要だと考える。

< 明田委員長 >

では委員長・副委員長で健康福祉部に申し入れをする。

< 酒井委員 >

本当は子ども・子育て支援事業計画に入れば良かった。しかし、地域福祉計画は福祉関係の全般をカバーする理念的な計画になっており、その下に子どもや高齢者、障害者の個別の計画がある。地域福祉計画が改定のタイミングなので、まずは大きなくくりの中に入れていただき、計画の中に入っていることにより、各部署で具体的な施策が進められればと考える。地域福祉課がまず入り口になると考えられる。

< 明田委員長 >

正副委員長名で健康福祉部に申し入れをする。その後、どのように考えているかお話も聞けたらと考える。

散会 ~ 15 : 28